

1月

# 学校だより

人丸小学校  
2020.1.7

## 成長のヒント

校長 西口 隆

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。本校の教育活動に対しまして、今年も変わらぬご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

元日より、駅伝競走・ラグビーとテレビでのスポーツ観戦を続け、自分は動かずとも気持ちだけはスポーツをしていました。中でも、箱根駅伝はテレビの前からなかなか離れることができませんでした。見たこともなく名前も知らない選手が、走ってタスキをつなぐという競走にどうして惹かれるのか、抜きつ抜かれつという競り合いにどうして心が躍るのか、自分でもよく分かりません。今年も番組の途中に、過去に箱根駅伝を走ったというOBが思い出を語るコーナーがありました。1950年代、大学のラグビー部の選手だった人が、駅伝の選手が10人そろわないということでメンバーに入れられ、箱根路を走った時のことを語っておられたのですが、そのお話が心に残りました。

**「自分へとタスキをつないで走っている競走部の選手を応援するから、自分も頑張る走る。」**

というような内容でした。

往々にして私たちは「自分も頑張っているのだからあなたも頑張るなさい。」と、自分の思いを相手に強いるような考え方をしがちですが、全く反対の考え方です。—あなたを応援するから自分も頑張る—相手の結果を望まない、素晴らしい考え方だと思いました。

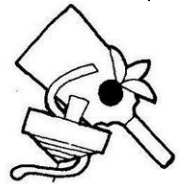
「きつとうまくいくよ。」「すごいすごい。」などと頑張っている人を応援することで、不思議と自分にも力がみなぎってくるはずです。相手の努力を肯定する人は、努力する価値を自らも認めることになり、自分のやる気も起こせることになると思います。反対に、真面目に努力している人をバカにすると、自分自身は言い訳を口にするばかりで、努力できないような人間になってしまうような気がします。

子どもたちにも人を応援する大切さを伝えたいと思います。

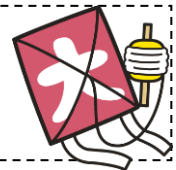


# 1月行事予定

7	火	始業式（1～4年 11:25 5・6年 12:15 下校 短縮校時）プロジェクト ノー残業デー
8	水	短縮校時（12:15 下校） 席書会
9	木	給食開始 発育測定（5・6年）
10	金	発育測定（3・4年）
14	火	発育測定（2年） 郵便局振替日 ノー残業デー
15	水	月曜の時間割 火曜校時 発育測定（1年） 子ども安全の日 代表委員会 大蔵中制服採寸（15:00 コミセン）
16	木	5年校外学習（神戸方面） 発育測定（なかよし・予備）
17	金	避難訓練（2校時）
20	月	租税教室（6年）
21	火	6校時まで（3～6年） ノー残業デー
23	木	1年幼保（就学児童）交流1年 SC
24	金	郵便局再振替日
27	月	こころの劇場（6年）
28	火	クラブ活動 個別懇談日 ノー残業デー
30	木	木曜の時間割 火曜校時
31	木	学校保健委員会（5年いのちの教室2～4校時） 児童会役員選挙公示



- |                        |               |
|------------------------|---------------|
| 2/4(火)～6(木) 人丸つ子作品展    | ・2/23(日)天皇誕生日 |
| 2/6(木) オープンスクール(234校時) | ・2/24(月)振替休日  |
| 2/8(土)～11(火) 市内書初め展    |               |
| 2/12(水) 本校入学説明会        |               |



## 生活目標 外で元気よく遊ぼう

### 1. 17は忘れない

**真剣な避難訓練を！**

「え……。何が起きているの？」

今から20数年前、私は小学校5年生でした。大きな揺れで目が覚めた私は、自分の身の回りで起きている状況をまったく理解できませんでした。本棚や机からたくさんの物が落ち、自分や家が大きく上下に揺られていました。

「地震だ。身を守らないと！」と考える余裕もなく、とにかく恐怖を感じて立ちつくしていた記憶があります。

阪神淡路大震災を経験した私はそれ以来、自分の身を守るための避難訓練に真剣に取り組むようになりました。当時、恐怖のあまり立ちつくすしかできなかったからです。

今から思うと、阪神淡路大震災を経験する前の私は、学校での避難訓練に対して真剣に取り組んでいたとは言えません。まさか、自分が実際に大きな地震を経験するとは考えていなかったからです。

本校では、1月17日に地震に対する避難訓練を実施します。本校に通う児童は、阪神淡路大震災はもちろんのこと、大きな地震を経験していません。恐怖というものは実際に経験しないと分からないものです。しかし、実際に自分が地震を経験するということを想定し、自分の身を守るための訓練に真剣に取り組んでもらいたい。取り組ませたいと職員一同考えています。ご家庭でも、この1月17日という「忘れられない日」に、震災時の対応や準備などについて話し合う機会にさせていただければと思います。

(防災担当)

## 1. 17は忘れない

# 真剣な避難訓練を！

「え・・・。何が起きているの？」

今から20数年前、私は小学校5年生でした。大きな揺れで目が覚めた私は、自分の身の回りで起きている状況をまったく理解できませんでした。本棚や机からたくさんの物が落ち、自分や家が大きく上下に揺られていました。

「地震だ。身を守らないと！」と考える余裕もなく、とにかく恐怖を感じて立ちつくしていた記憶があります。

阪神淡路大震災を経験した私はそれ以来、自分の身を守るための避難訓練に真剣に取り組むようになりました。当時、恐怖のあまり立ちつくすしかできなかったからです。阪神淡路大震災を経験する前の私は、学校での避難訓練に対して真剣に取り組んでいたとは言えません。まさか、自分が実際に大きな地震を経験するとは考えていなかったのです。

本校では、1月17日に地震に対する避難訓練を実施します。本校に通う児童は、阪神淡路大震災はもちろんのこと、大きな地震を経験していません。恐怖というものは実際に経験しないと分からないものです。しかし、実際に自分が地震を経験するということを想定し、自分の身を守るための訓練に真剣に取り組んでもらいたい。取り組ませたいと職員一同考えています。ご家庭でも、この1月17日という「忘れられない日」に、震災時の対応や準備などについて話し合う機会にしていいただければと思います。